

評価報告概要表

■第三者評価機関

| | |
|-------|-------------------|
| 名 称 | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 |
| 評価調査日 | 令和 元年 10月 29日 (火) |

■福祉サービス事業者情報

| | | | |
|------------|---|----------|--------------|
| 名 称 | たかもり本陣保育園 | 種 別 | 保育所 |
| 代表者氏名 | 園長 寺本 隆宏 | 開設年月日 | 平成30年4月1日 |
| 設置者 | 社会福祉法人 すくすくパートナー | 定員(利用人数) | 120名(108名) |
| 所在地 | 〒742-0417 岩国市周東町下久原1265-1 | | |
| 電話番号 | 0827-83-0011 | FAX番号 | 0827-83-0012 |
| ホームページアドレス | http://sukusuku-hoiku.jp | | |

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

- ・施設長は、山口県保育協会の役員として長年就任される中で国や県、市保育協会、行政機関との適正な関係を保持し、市内外の研修会への積極的な参加の他、各種会議や文書等を通して職員との交流を図り、保育の質の現状を把握するなど、福祉サービスの質の向上に指導力を発揮されています。また、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、雇用条件に応じた働きやすい職場づくりにも取り組んでおられ、施設長を始め、主任保育士、副主任保育士、嘱託保健師にいつでも相談しやすい体制を取っておられます。
- ・地域との交流においては、地域のイベントにおける園児の作品展示、高齢者施設への慰問、幼年消防クラブの結成、和太鼓の披露などを行っておられ、地域との関係が良好です。また、子育て支援センターを設置し地域に開放することで、個別の相談に応じる他、就学前の親子の交流・体験の場づくりを行い、子育てサークルの活動場所として提供されています。
- ・設備面においては、トイレを男女別に分け、個室化するなどプライバシーに配慮した福祉サービスが提供されています。
- ・安心・安全な福祉サービスの提供については、危機管理マニュアルを基に、園内でのリスクマネジメント体制を構築しておられ、中でも、園外保育におけるチェック体制があり、園外活動におけるチェックリストによる安全確認が行われています。
- ・環境面では、明るく清潔で室内の温度や採光等は適切な状態に保持されており、共有スペースも多く、異年齢児間の交流が持てるように配慮されると共に、生活や遊びがより豊かに展開できるよう、年齢に応じた室内環境に工夫がなされています。

◇改善を求められる点

- ・階層別研修や職種別研修、テーマ別研修など、必要とする知識・技術水準に応じた職員研修の計画や、研修参加後には研修成果の評価・分析が望まれます。
- ・園外保育や異年齢児との交流の機会の増大が期待されます。
- ・SIDS(乳幼児突然死症候群)に関する保護者への必要な情報提供や、アレルギーのある子どもの対応に関する保護者への啓発や適切な情報提供が望まれます。
- ・虐待予防に関する職員会議や、内部研修での学習の実施が望まれます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

開園2年目での第三者評価受審でしたが、全職員で取り組んだことで、新園の運営体制について、全員で点検や共通理解が図れ、職員間の連帯感も深まったことは大きな意義があり、また課題や改善点などが見えて来たことも大きな収穫でした。今後は、受審結果を踏まえ、利用者の皆様により信頼される保育園を目指して、職員一同精進してまいります。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

| I 福祉サービスの基本方針と組織 | a | 6 | b | 3 | c | 0 | Na |
|---|---|---|---|---|---|---|----|
| <p>・保育所の理念、方針、目標はホームページや園のしおり、事業計画書等に適切に明文化されています。</p> <p>・事業経営を取り巻く環境と経営環境は、法人の理事会・評議員会において有識者からの助言を得て、施設長を中心に経営課題を把握・分析されています。その上で、新たな保育園の中長期ビジョンが策定され、その計画を踏まえ、子どもたちの様子(年齢、発達、個人差)、保護者の意向を反映した単年度の事業計画が策定されています。また、事業計画は、保護者に対しては保護者会、役員会、クラス懇談会において保育方針や年齢別の計画等が周知されています。</p> <p>・正副主任会議や職員会議の他、クラス代表者会議、非常勤職員会議、グループ会議などで様々な立場の職員の意見をくみ上げ、保育の質の向上に向けた取組が行われています。</p> <p>・今回の第三者評価の結果を基に、改善課題を明確にし、職員間で課題の共有化を図った上で、解決・改善に計画的に取り組むことが望まれます。</p> | | | | | | | |

| II 組織の運営管理 | a | 9 | b | 9 | c | 0 | Na |
|---|---|---|---|---|---|---|----|
| <p>・施設長は、県保育協会副会長の役職として、国や県、市保育協会、行政機関との適正な関係を保持し、会議や研修にも積極的に参加しておられ、職員の人員配置や働きやすい就業環境の整備をする中で保育の質の現状を把握するなど、福祉サービスの質の向上に指導力を発揮されています。</p> <p>・民営化後の新体制への移行の中にあり、就業環境の整備では、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、雇用条件に応じた働きやすい職場づくりに取り組んでおられ、施設長を始め、職員にいつでも相談しやすい体制が取られています。</p> <p>・地域との交流では、地域のイベントにおける園児の作品展示、高齢者施設への慰問、幼年消防クラブの結成と和太鼓の披露などを始め、地域の文化祭実行委員会への参加・協力、社会福祉協議会や地元の図書館、市営プールなど、地域の様々な機関・団体との連携を図っておられます。</p> <p>・職員の教育・研修の内容については、研修への参加後に研修成果の評価・分析を行い、次の研修計画に反映することが望まれます。</p> | | | | | | | |

| III 適切な福祉サービスの実施 | a | 14 | b | 4 | c | 0 | Na |
|--|---|----|---|---|---|---|----|
| <p>・利用者本位の福祉サービスにおける子どもを尊重した保育として、プライバシー保護マニュアルを整備し、設備面ではトイレを男女別に分け個室化するなど、プライバシーに配慮した保育が提供されています。</p> <p>・子どもが満足感を味わい、自己肯定感が育まれるよう保育士間で協議する体制をつくり、保護者に対しては各種アンケート調査を実施し、意見をくみ取り改善を行っておられます。</p> <p>・苦情対応マニュアルや「意見・要望・苦情・不満を解決するための仕組みに関する規程」に沿って、苦情解決の体制が確立されると共に、意見解決に向けた取組が機能しています。</p> <p>・危機管理マニュアル、年間避難訓練計画が策定されており、火災・地震・水害時を想定した避難訓練等を定期的実施されており、園児に対しては、絵本や紙芝居等で防災意識の涵養に努めておられる他、安心・安全な福祉サービスの提供については、園外保育におけるチェック体制があり、園外活動におけるチェックリストによる安全確認が行われています。</p> | | | | | | | |

| IV 良質な個別サービスの実施 | a | 12 | b | 8 | c | 0 | Na |
|--|---|----|---|---|---|---|----|
| <p>・室内空間は、明るく清潔で室内の温度や採光等が適切な状態に保持され、共有スペースが沢山あり、異年齢児間の交流が持てるように配慮したり、段ボールで囲んで自分の居場所づくりができるよう配慮されています。</p> <p>・0歳児保育では、保育者が乳児一人ひとりの発達や個人差に応じて、ゆったりと暖かく丁寧に子どもに関わり、落ちついた雰囲気の中で過ごせるよう配慮されています。3歳児未満の保育では、子ども達の発達や個人差を考慮し、五感を通じた活動や子どもの興味・関心を捉えた活動ができるよう工夫されています。3歳以上児の保育では、子どもの発達段階に応じた様々な体験ができるよう美術教室や英会話教室、体操教室などの園外講師による指導や地域の福祉施設や近隣の保育園との交流、行事などが行われ、経験の幅が拡がり子どもたちが自信をつけているとのことでした。</p> <p>・子ども達が給食の食材に興味・関心がもてるよう園児が書いた食材のカードを活用する他、テーブル間の距離を広く取り、同じテーブルでコミュニケーションを取ったり、保育者と一緒にテーブルを囲んで食べるなど、食事の時間が楽しくなるよう工夫されています。</p> | | | | | | | |

第三者評価結果表

施設名 たかもり本陣保育園

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|--|---|---|---|---|----|
| 1 理念・基本方針 | | | | | |
| (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | | | | | |
| 1 | 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・園の保育理念、保育方針、保育目標はホームページ、園のしおりに記載されており、職員に対しては採用時に示すと共に、日々の朝礼時に唱和し、クラスに掲示するなど周知が図られています。また、保護者には、ホームページや園からの配布文書での周知の他、年度初めに施設長がクラス毎に説明をされています。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p> | | | | | |
| 2 経営状況の把握 | | | | | |
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | | | | |
| 2 | 1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | ○ | | | |
| 3 | 2 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・施設長は、山口県保育協会の役員として長年就任される中、子ども子育て支援法の施行、社会福祉法の改正、保育所保育指針の改定など保育所を取り巻く環境変化の動向について把握すると共に、岩国市保育園整備検討協議会の委員として、地域の人口動態、出生ニーズ、保育ニーズをも把握・分析することで保育所の経営に活かしておられます。分析された経営課題については、法人の理事会・評議員会において有識者や他法人経営者から助言を得ると共に、事業所内においては主任ミーティングやクラス代表者会議で検討し、具体的な取組が進められています。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p> | | | | | |
| 3 事業計画の策定 | | | | | |
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | | | | |
| 4 | 1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | ○ | | | |
| 5 | 2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | ○ | | | |
| (2) 事業計画が適切に策定されている。 | | | | | |
| 6 | 1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | | ○ | | |
| 7 | 2 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・保育理念、組織運営、環境整備、地域との交流等に関する新たな保育園の中長期ビジョンが策定され、その計画を踏まえ、子どもたちの様子(年齢、発達、個人差)、保護者の意向を反映した単年度の事業計画が策定されています。 ・事業計画は、保護者に対しては保護者会・役員会・クラス懇談会において、保育方針や年齢別の計画等が周知されています。</p> <p>(改善が求められる点) ・事業計画の評価は、設定した目標や経営課題の解決・改善の状況や効果を確認すると共に、次年度へのステップとなるものです。評価・見直しの時期、関係職員や保護者の意見を取り込めるような手順が組織として定められ、実施されることが望まれます。</p> | | | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|---|---|---|---|----|
| 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 | | | | | |
| (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | | | | | |
| 8 | 1 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | | ○ | | |
| 9 | 2 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・正副主任会議や職員会議の他、クラス代表者会議・非常勤職員会議・グループ会議などで様々な立場の職員の意見をくみ上げ、保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われており、保育の自己評価、保育内容の評価、セルフチェックなどを実施し、保育所として取り組むべき課題を明確にされています。</p> <p>(改善が求められる点) ・今回の第三者評価の結果を基に、改善課題を明確にし、その解決・改善に計画的に取り組む必要があり、そのためには、評価結果を分析した内容やそれに基づく課題を文書化し、職員間で課題の共有化を図ることが望まれます。更に、組織的にPDCAサイクルを意識し、保育の質の向上に取り組まれることが期待されます。</p> | | | | | |

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

| | | | | | |
|--|------------------------------------|---|--|--|--|
| 1 管理者の責任とリーダーシップ | | | | | |
| (1) 管理者の責任が明確にされている。 | | | | | |
| 10 | 1 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | ○ | | | |
| 11 | 2 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | ○ | | | |
| (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | | | | |
| 12 | 1 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 | ○ | | | |
| 13 | 2 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・施設長の役割は管理規程に明記されており、朝礼、職員会議の他、園だより、クラスの掲示等様々な機会を通して、自らの役割や責任を職員に表明されています。また施設長は、遵守すべき法令を十分理解され、山口県保育協会副会長の役職として、国や県、市保育協会、行政機関との適正な関係を保持し、会議や研修にも積極的に参加しておられます。さらに、各種会議や文書等を通して職員との交流を図り、職員の人員配置や働きやすい就業環境の整備をする中で保育の質の現状を把握するなど、福祉サービスの質の向上に指導力を発揮されています。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|
| 2 福祉人材の確保・養成 | | | | | |
| (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | | | | | |
| 14 | 1 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | | ○ | | |
| 15 | 2 総合的な人事管理が行われている。 | | ○ | | |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | | | | |
| 16 | 1 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。 | ○ | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|---|---|---|---|----|
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | | | | |
| 17 | 1 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | | ○ | | |
| 18 | 2 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | | ○ | | |
| 19 | 3 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | | ○ | | |
| (4) 実習生の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | | | | | |
| 20 | 1 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民営化後の新体制への移行の中、単年度の運営方針に基づく人材配置は適切になされ、職員の処遇については十分に還元できるよう努めておられます。 ・就業環境の整備については、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、雇用条件に応じた働きやすい職場づくりに取り組んでおられ、施設長を始め、主任保育士・副主任保育士・嘱託保健師にいつでも相談しやすい体制が取られています。 ・職員一人ひとりの教育・研修の機会について、基本方針と年間の研修計画が策定され、内外の研修に積極的に参加されています。 ・近隣の高校生などの実習生を受け入れ、受入れ学校の担当の教諭と協力して事前打ち合わせや実習中の指導助言などを行い、保育士としての専門性の取得に向けた指導を行っておられます。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の内容については、新たに階層別研修や職種別研修、テーマ別研修など、職務や必要とする知識・技術水準に応じたものが考えられます。また、研修参加後には研修成果の評価・分析を行い、次の研修計画に反映することが望まれます。 ・実習生の育成については、実習生の受入れ等に関するマニュアルを作成し、指導のポイントなどを職員が共通理解できることが求められます。 | | | | | |

| 3 運営の透明性の確保 | | a | b | c | Na |
|--|------------------------------------|---|---|---|----|
| (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | | | | | |
| 21 | 1 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | | ○ | | |
| 22 | 2 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園のホームページでは保育園の理念・保育方針・保育目標、園の概要等が公開されており、財務諸表等は、ワムネットや市のホームページで法人として公開されています。 ・法人の経理規程により、会計処理や財務諸表、予算・決算等について公正さを確保するための組織的な取組がなされており、経理については内部監査が行われています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益性の高い社会福祉法人としては、定期的な外部監査が望まれます。 | | | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|---|---|---|---|----|
| 4 地域との交流、地域貢献 | | | | | |
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | | | | |
| 23 | 1 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | ○ | | | |
| 24 | 2 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | ○ | | | |
| (2) 関係機関との連携が確保されている。 | | | | | |
| 25 | 1 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | ○ | | | |
| (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | | | | |
| 26 | 1 保育所が有する機能を地域に還元している。 | ○ | | | |
| 27 | 2 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流については、地域のイベントにおける園児の作品展示、高齢者施設への慰問、幼年消防クラブの結成、和太鼓の披露など、地域との交流を広げる取組を積極的に行っております。 ・ボランティア受入れマニュアルを作成し、地域の中学校や県立高校との連携を図り、夏季休暇中の保育ボランティアの受入れや職場体験、インターシップなどを行っております。 ・地域の幼保小連絡協議会や子育て連絡協議会に参加し、関係機関とのネットワーク化を図る他、地域の文化祭実行委員会への参加・協力、社会福祉協議会や地域の図書館、市営プール、地元の高齢者福祉施設など、地域の様々な機関・団体との連携が適切に行われています。 ・子育て支援センターを設置し地域に開放することで、個別の相談に応じる他、就学前の親子の交流・体験の場づくりを行い、子育てサークルの活動場所として提供されています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所が地域社会における福祉向上に役割を果たすためには、地域の具体的な福祉ニーズを把握し、これに基づく保育所独自の公益的な事業・活動を積極的に行っていくことが望まれます。 | | | | | |

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| | | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---|--|--|
| 1 利用者本位の福祉サービス | | | | | |
| (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | | | | |
| 28 | 1 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | ○ | | | |
| 29 | 2 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。 | ○ | | | |
| (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。 | | | | | |
| 30 | 1 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。 | ○ | | | |
| 31 | 2 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。 | ○ | | | |
| 32 | 3 保育所の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | | ○ | | |
| (3) 利用者満足の向上に努めている。 | | | | | |
| 33 | 1 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | ○ | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|--|---|---|---|----|
| (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | | | | |
| 34 | 1 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | ○ | | | |
| 35 | 2 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 | ○ | | | |
| 36 | 3 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | ○ | | | |
| (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 | | | | | |
| 37 | 1 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | ○ | | | |
| 38 | 2 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | ○ | | | |
| 39 | 3 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを尊重した保育については、チェックシートを活用し評価すると共に、その結果は一人ひとりの保育者が視覚的に理解できるようにレーダーチャートで示されています。 ・プライバシー保護マニュアルが整備され、設備面ではトイレを男女別に分け個室化するなど、プライバシーに配慮した保育が提供されています。 ・ホームページや利用のしおり、給食だより、子育て支援センター通信の配布の他、見学者に対してのきめ細やかな対応など、利用希望者に対して必要な情報を積極的に提供されています。 ・子どもが満足感を味わい、自己肯定感が育まれるような保育内容・ねらい・方法等に配慮するよう保育士間で協議する体制ができており、保護者に対しては各種アンケート調査を実施し、意見をくみ取り改善を行ってまいります。 ・苦情対応マニュアルや「意見・要望・苦情・不満を解決するための仕組みに関する規程」に沿って、苦情解決の体制が確立されると共に、意見解決に向けた取組が機能しています。 ・危機管理マニュアル、年間避難訓練計画が策定されており、火災・地震・水害時を想定した避難訓練等が定期的に行われています。園児に対しては、絵本や紙芝居等で防災意識の涵養に努めておられる他、安心・安全な福祉サービスの提供については、園外保育におけるチェック体制があり、園外活動におけるチェックリストによる安全確認が行われています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態の変化や家庭環境の変化等で保育所の変更を行う場合、子どもへの保育の継続性を損なわないよう配慮し、引継ぎや申し送りの手順、文書の内容を定めておくことが望まれます。 | | | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|---|---|---|---|----|
| 2 福祉サービスの質の確保 | | | | | |
| (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 | | | | | |
| 40 | 1 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。 | ○ | | | |
| 41 | 2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | | ○ | | |
| (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 | | | | | |
| 42 | 1 アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。 | | ○ | | |
| 43 | 2 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 | | ○ | | |
| (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。 | | | | | |
| 44 | 1 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | ○ | | | |
| 45 | 2 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園運営の理念や将来への展望・保育方針・保育目標に沿い養護と教育が一体となった保育計画を基に、年齢別年間指導計画・月案等を立案した上で業務にあたっておられ、計画全般は施設長、主任保育士、副主任保育士の責任の下、必要に応じて見直しが行われています。 ・指導計画については、子どものニーズや保護者の意向、子どもを取り巻く生活環境等についてアセスメントを行い、必要な情報を把握の上、個別の保育課題を明確化し、計画に反映しておられます。 ・園児に関する情報や記録はICTによるデータで管理され、保育士全員で共有されています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに対する保育の質の向上を継続的に図るためには、策定した指導計画について、P DCAサイクルを継続して評価・見直しを実施することが望まれます。 | | | | | |

Ⅳ 良質な個別サービスの実施(保育所)

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|----|---|---|---|----|
| A-1 保育内容 | | | | | |
| (1) 保育課程の編成 | | | | | |
| 1 | 1 | 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた保育課程を編成している。 | | | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育過程は「保育所保育指針」を踏まえ、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、地域の実態や子どもと家庭の状況を考慮し、編成されています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育過程は、保育所全体で組織的・計画的に取り組むことや一貫性・連続性のある保育実践が求められることから、定期的な評価が望まれます。 | | | | | |
| (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | | | | | |
| 2 | 1 | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | | | |
| 3 | 2 | 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | | | |
| 4 | 3 | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 | | | |
| 5 | 4 | 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | | | |
| 6 | 5 | 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | |
| 7 | 6 | 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | |
| 8 | 7 | 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | |
| 9 | 8 | 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | |
| 10 | 9 | 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | |
| 11 | 10 | 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|--|--|---|---|---|----|
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく清潔で室内の温度や採光等が適切な状態に保持されており、共有スペースが沢山あり、異年齢児間の交流が持てるように配慮したり、段ボールで囲んで自分の居場所づくりができるよう配慮するなど、子ども一人ひとりの活動に応じて環境が変えられるよう工夫されています。 ・職員間のコミュニケーションを密にとり、子ども一人ひとりに向き合う姿勢ができています。さらに、保育者の援助(言葉かけ・関わり)が穏やかで、年齢を問わず受容的に接しておられます。 ・生活や遊びがより豊かに展開できるよう、年齢に応じた室内環境に工夫がされています。また、園庭の環境や自然物に関わることができるよう、子どもの活動の様子を見ながら環境構成に取り組まれています。 ・0歳児保育では、保育者が乳児一人ひとりの発達や個人差に応じて、ゆったりと暖かく丁寧に子どもに関わり、落ちついた雰囲気の中で過ごせるよう配慮されています。健康状態については嘱託医、栄養については栄養士と適宜相談されています。 ・3歳児未満の保育では、子ども達の発達や個人差を考慮し、五感を通じた活動や子どもの興味・関心を捉えた活動ができるよう工夫されています。 ・3歳以上児の保育では、子どもの発達段階に応じた様々な体験ができるよう、指導計画に沿って保育実践がなされています。美術教室や英会話教室、体操教室などの園外講師による指導や地域の福祉施設や近隣の保育園との交流、行事などにより経験の幅が広がり、子どもたちが自信をつけているとのことでした。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期からたくさんの自然に触れることが大切であるため、園外保育の機会を増やすことが望まれます。 ・3歳未満児では、生活や遊びの中で、年長児や保育士等のまねをしたり、ごっこ遊びを楽しむことにより人との関わり方を少しずつ身につけるため、異年齢児との交流の機会を増やすことが期待されます。 ・早朝保育・延長保育では、保育士間の引き継ぎ、保護者との連携、保育時間が予定よりも長くなった場合の対応などの環境整備が望まれます。 | | | | | |

| (3) 健康管理 | | | | | |
|--|---|--|---|---|--|
| 12 | 1 | 子どもの健康管理を適切に行っている。 | ○ | | |
| 13 | 2 | 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。 | ○ | | |
| 14 | 3 | アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | | ○ | |
| <p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康安全への対応について、衛生管理マニュアルに基づき職員間で共通理解し的確に取り組まれており、保護者や医療機関との連携、緊急事態に関しても速やかに対応されています。 ・年2回の健康診断、年1回の歯科検診、年2回の歯磨き指導を行い、その結果を保護者にも連絡するなど、診断結果が保育に反映されています。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の健康管理では、SIDS(乳幼児突然死症候群)に関する保護者への必要な情報提供を行うことが望まれます。また、アレルギーのある子どもの対応については、保護者への啓発や適切な情報提供が望まれます。 | | | | | |

| 【 評価項目 】 | | a | b | c | Na |
|---|-----------------------------------|---|---|---|----|
| (4) 食事 | | | | | |
| 15 | 1 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | ○ | | | |
| 16 | 2 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・子ども達が給食の食材に興味・関心をもてるよう園児が書いた食材のカードが提示され、給食放送に活用する他、テーブル間の距離を広く取り、同じテーブルでコミュニケーションを取ったり、保育者と一緒にテーブルを囲んで食べるなど、食事の時間が楽しくなるよう工夫されています。</p> <p>(改善が求められる点) ・栄養士や調理員が子どもたちとの食事の様子を定期的に観て、献立や調理に反映することが望まれます。</p> | | | | | |

| A-2 子育て支援 | | | | | |
|--|---------------------------------|---|--|--|--|
| (1) 家庭との緊密な連携 | | | | | |
| 17 | 1 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | ○ | | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・様々な機会を通して家庭との連携が図られ、子ども一人ひとりの成長や生活の充実が図られています。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p> | | | | | |

| (2) 保護者等の支援 | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|
| 18 | 1 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | ○ | | | |
| 19 | 2 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・普段から保護者とのコミュニケーションを密にすることを心がけており、保護者からの相談には、相談の内容に応じて保健師や主任保育士、副主任保育士等が対応するよう体制が整えられています。</p> <p>(改善が求められる点) ・虐待予防に関しての職員会議や内部研修における学習の実施が望まれます。</p> | | | | | |

| A-3 保育の質の向上 | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|
| (1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価) | | | | | |
| 20 | 1 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | | ○ | | |
| <p>(特に評価が高い点) ・職員は、保育の指導計画や保育の記録を通して自らの保育実践を振り返り、専門性の向上を図っておられます。</p> <p>(改善が求められる点) ・保育士が行う振り返りを保育所全体の自己評価につなげ、一人では気付かなかった保育の良さや課題の確認ができる組織的な自己評価の取組が望まれます。</p> | | | | | |